R063033A

F-1

TOTO

施工説明書

電気温水器

電温ユプロ<フルオート>

RE3705、RE4605（標準圧力型）
（時間帯別電灯対応通電制御型／深夜電力通電制御型）

安全のために必ずお守りください

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
この施工説明書では、製品を正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害及び工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、つぎのようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

下記に示す内容は、施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

	一般的な指示		必ずアース線を接続せよ
	一般的な禁止		ふろ、シャワーなど水場での使用禁止

取付け工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」にしたがって各部の点検を行い器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

⚠警告

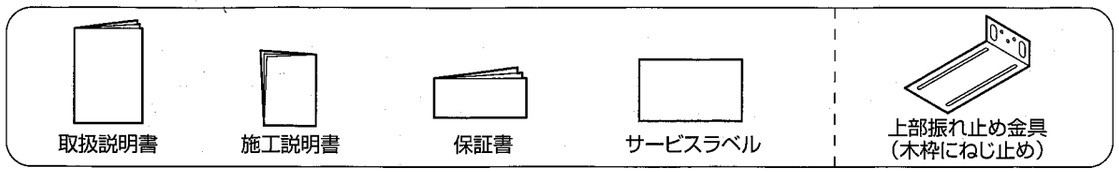
- 必ずアースはD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
（故障や漏電のときに感電するおそれがあります。）
- 必ず漏電遮断器の動作を確認してください。
（故障のまま使用すると感電するおそれがあります。）
- ガス、灯油類や引火物の近くには設置しないでください。
（火災の原因になります。）
- 浴室など湿気の多い場所や浸水する可能性のある場所には設置しないでください。
（故障、感電の原因になります。）
- 必ず本体の脚をアンカーボルトで確実に固定してください。
また、上部振れ止め金具で本体上部を固定してください。
（本体が倒れてけがをすることがあります。）

⚠注意

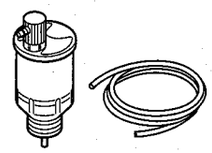
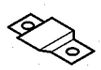
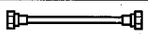
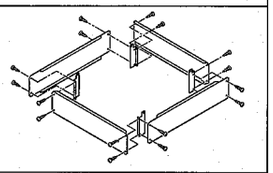
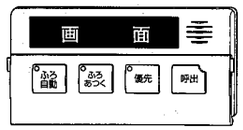
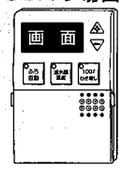
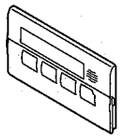
- 必要に応じ別売品の負圧弁を取付けてください。
（タンク内が負圧になった場合に破損し、漏水ややけどのおそれがあります。）
- 必ず凍結予防対策を行ってください。
（配管が凍結し機器や配管が破損する可能性があります。）
- 水道水以外は、通水しないでください。
（井戸水等を通水すると腐食等により漏水するおそれがあります。）
- 必ず排水処理工事をしてください。
（膨張水の発生やタンクの排水時に周辺に被害をおよぼすおそれがあります。）
- 電気温水器からの漏水による被害が予想される場所に設置する場合は、必ず床面の防水処理工事をしてください。
（万一、漏水した場合、階下などに被害をおよぼすおそれがあります。）

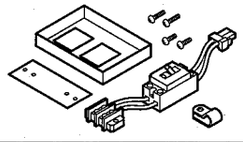
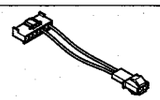
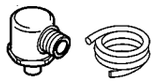
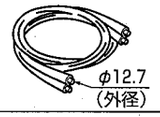
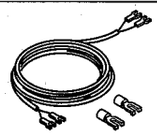
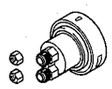
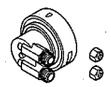
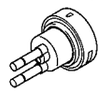
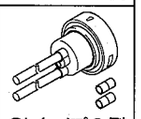
同　梱　部　品

本体に次の部品が同梱されているか確認してください。



別　売　品

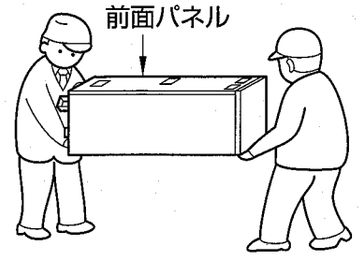
品名／品番	形　状
自動空気抜き弁 RHE59	
脚固定金具 RHE574	
絶縁パイプ（20A） RHE95	 （20A・0.5m）
ふろ絶縁パイプ（15A） RHE149	（15A・0.5m）
脚部化粧カバー RHE449	
浴室リモコン　RAC133F 浴室リモコン　RAC601F*	RAC133Fの場合 
台所リモコン　RAC133K 台所リモコン　RAC600K*	RAC133Kの場合 
リモコンカバー　RHA1355（RAC133F用） リモコンカバー　RHA7002（RAC601F*用）	RHA1355の場合 

品名／品番	形　状	
深夜電力契約対応キット RHE572		
時間帯別電灯契約B対応キット RHE632		
負圧弁 RHE96		
ペアチューブ RHG274−10・25・50	 φ12.7（外径）	
リモコンコード 台所リモコン用 （RHG351−3・5・8・10・15・20）		
浴室リモコン用 （RHA1358−3・5・8・10・15・20）		
無極性循環アダプタ ねじ接続タイプ 〔RHA1163−SG・SGL UG・LGL〕	SGタイプの例	UGタイプの例
無極性循環アダプタ フレア接続タイプ 〔RHA1163−SH・SHL UH・LHL〕	 SHタイプの例	 UHタイプの例
無極性循環アダプタ ロー付けタイプ 〔RHA1163−S・SL L・LL〕	 Sタイプの例	 SLタイプの例

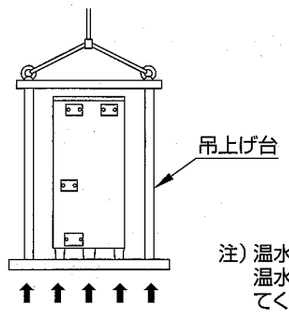
施工上のお願い

■据付工事

・トラックで輸送するときは梱包状態のまま立積みで転倒しないように十分固定して輸送してください。
・やむを得ず横置きする場合は、前面パネルを上にし外装に傷が付かないように置いてください。ただし、長距離の輸送はしないでください。
・屋外で開梱した場合は強風などで製品が転倒しないように安定した場所に仮置きしてください。
・開梱後運搬するときは前面パネルを上にして運搬してください。



・高層住宅などで温水器を吊上げるときは、吊上げ台を使用してください。



注）温水器質量に十分たえる吊上げ台に、温水器が転倒などしないように固定してください。

■配管工事

・配管工事は必ず、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
・**給水圧力範囲は0.15〜0.75MPa｛1.5〜7.5kgf/㎠｝**
この圧力範囲でご使用ください。

■電気工事

・電気工事は必ず電気工事士が行ってください。

■その他

・施工上の責任は当社では負いかねますので、万一、施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようにお願いします。
・保証書に、お買い上げ店名又は工事店及びお取付け日を必ず記入してください。

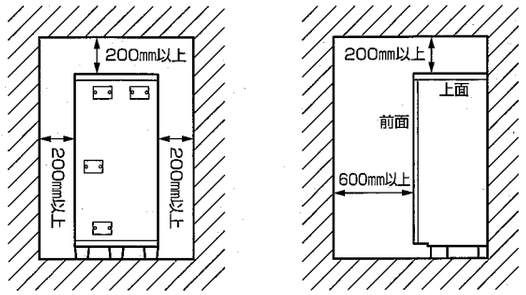
据　付　工　事

浴室など湿気の多い場所や浸水する可能性のある場所には設置しないでください。
（故障、感電の原因になります。）

ガス・灯油類や引火物の近くには設置しないでください。
（火災の原因になります。）

- 屋外に設置できますが、積雪地や塩害地では小屋がけが必要になります。

- 保守点検のため下図のスペースが必要です。また本体交換時の搬入・搬出ができるように考慮してください。



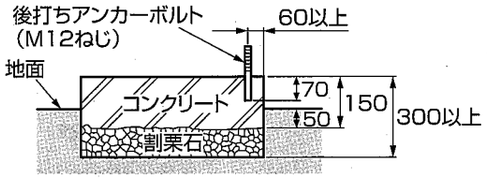
この温水器は、「対象火気設備等及び対象火気器具等の離隔距離に関する基準」（消防庁告示）適合品のため、建築物の可燃物などからの離隔距離は上下、左右、前後方向とも0mm以上です。
ただし、温水器と建築とのすき間寸法は各地区の火災予防条例にしたがってください。

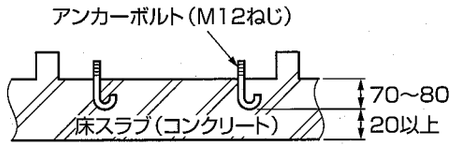
1. 床面工事

必ず排水工事を行ってください。
（膨張水の発生や排水時に周囲に被害をおよぼすおそれがあります。）

電気温水器からの漏水による被害が予想される場所に設置する場合は、必ず床面の防水処理工事をしてください。
（循環ポンプの水抜きをした場合及び、万一漏水した場合、階下などに被害をおよぼすおそれがあります。）

- 温水器の満水時の質量（370ℓは約449kg・460ℓは約548kg）に十分に耐える基礎工事をしてください。



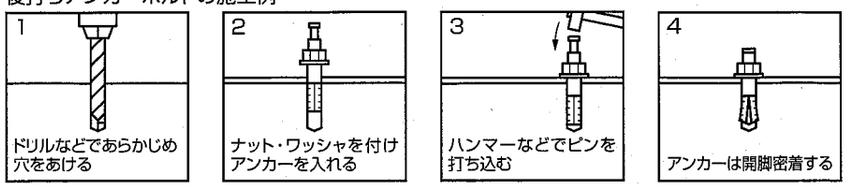


- コンクリートの圧縮強度は18MPa（約180kgf/cm²）以上にしてください。
- 買替え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは新たにアンカーボルトを打ってください。
- 後打ちアンカーボルトの場合は下記のものをご使用ください。

品名：おねじ形メカニカルアンカーボルト（mm）

直　径	12
ドリル径	12.7
埋込深さ	70

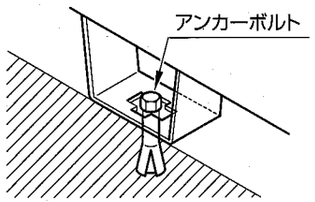
後打ちアンカーボルトの施工例



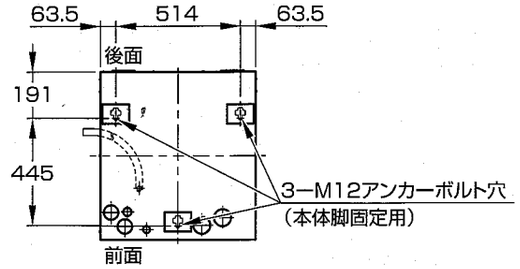
2. 本体の固定

必ず本体の脚をアンカーボルトで確実に固定してください。
（本体が倒れてけがをすることがあります。）

〈アンカーボルト固定拡大図〉

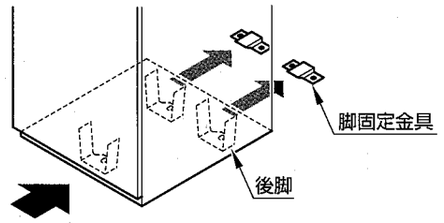


〈アンカーボルト位置（上面透視図）〉

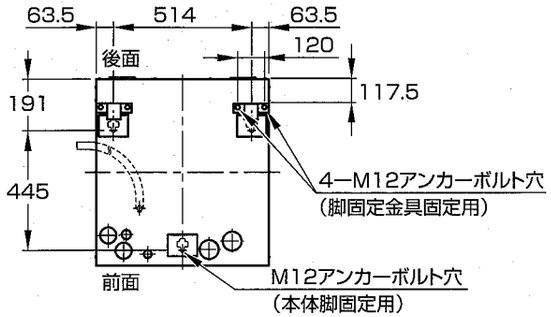


後脚がアンカーボルトで固定できない場合

①あらかじめ別売品の脚固定金具をM12アンカーボルト（2本）で下図の位置に固定してください。
②本体を矢印の方向へ移動させ、後脚を脚固定金具に確実にはめ込んでください。
③前脚をM12アンカーボルトで固定します。



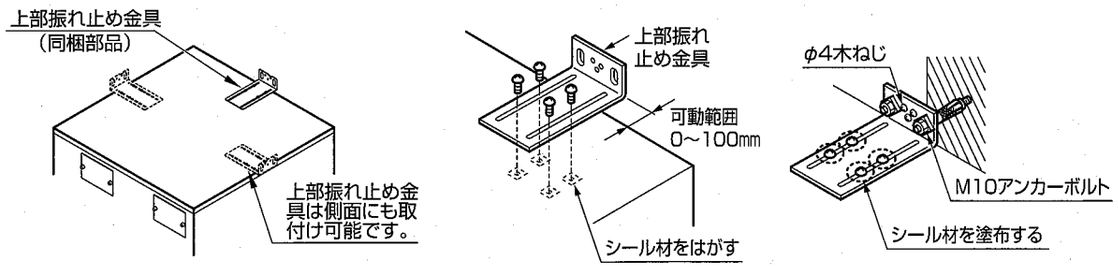
〈脚固定金具使用時（上面透視図）〉



上部振れ止め金具の取付け

本体付属品の上部振れ止め金具で本体を固定してください。
（本体が倒れてけがをすることがあります。）

①上部振れ止め金具取付け箇所（天板の後方または左右）のシールをはがす。（4ヶ所）
②上部振れ止め金具を付属のねじで本体天板に取付けてください。
　※雨の当たる場所では、ねじ部からの雨水浸入を防ぐため、シール材などで防水してください。
③上部振れ止め金具をアンカーボルトか木ねじを使用して壁に固定してください。
　※十分強度のある壁に固定してください。

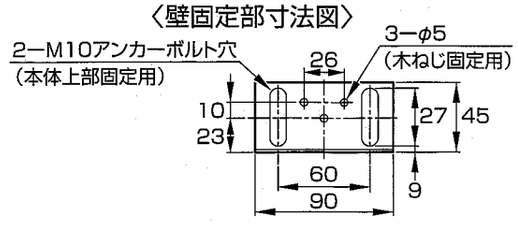


※後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

品名：おねじ形メカニカルアンカーボルト（mm）

直　径	10
ドリル径	10.5
埋込深さ	45

〈壁固定部寸法図〉

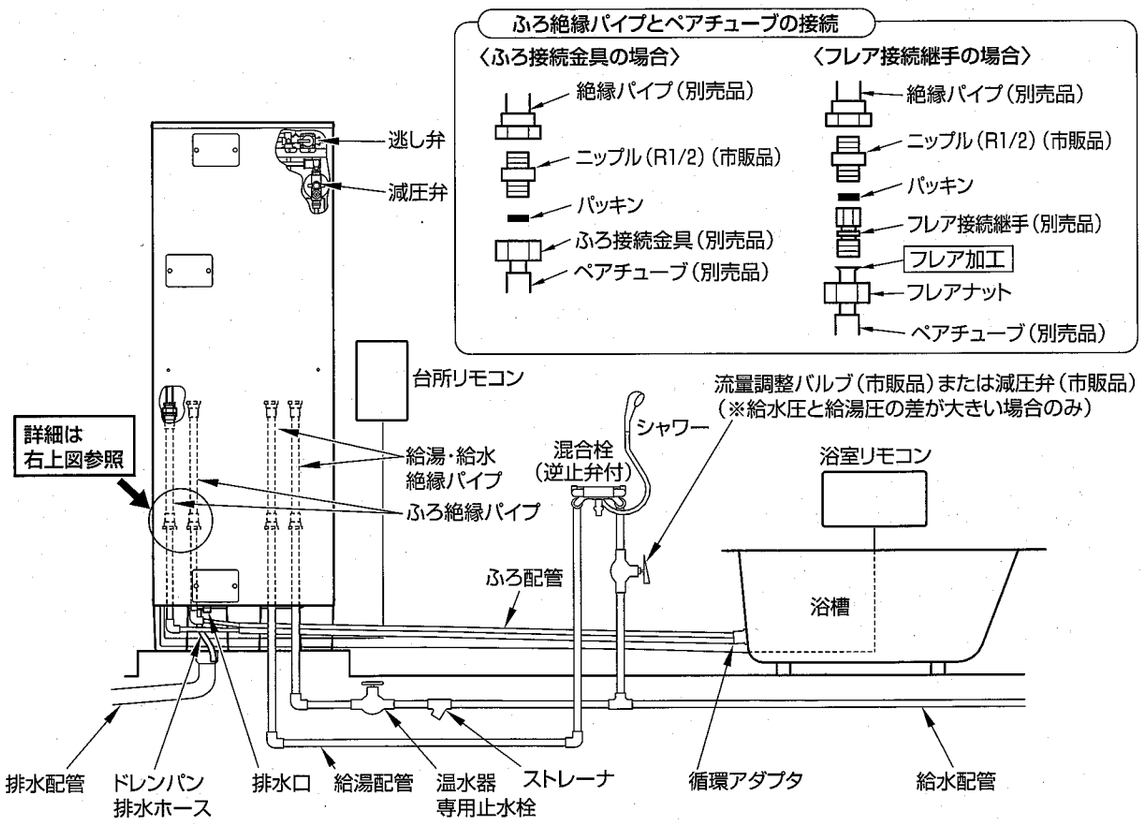


配　管　工　事

- 配管工事は、必ず当該水道局（水道事業管理者）の認定水道事業者が行ってください。
- 当社指定の別売品を使用してください。指定部品を使用せずに事故、故障が生じた場合は責任を負いかねます。

- 温水器回りの配管部品は、保守・点検がしやすいように取付けてください。
- 給水管は合成樹脂内面処理鋼管又は銅管を、給湯管は銅管又はステンレス管を使用してください。
  また、排水管系は耐熱性のある材料を使用してください。なお、所轄の水道局で配管材料が指定されている場合はそれにしたがってください。
- 配管材料をロー付けした場合は、ロー付け箇所のフラックスを濡れた布などできれいに拭き取ってください。
- 配管材料はねじ切り・切断などの際、油やゴミが付着するので加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。
- 混合栓には、必ず逆止弁付混合栓を使用してください。また、安全性、温度安定性に優れた当社サーモスタット式との接続をおすすめします。
  シングルレバー式や2バルブ式と接続される場合は、給水圧と給湯圧の差が大きい場合は使い勝手が悪くなりますので給水元圧を減圧する、混合栓の湯側のブッシュを外す、混合栓への給水量を止水栓で絞るなどして、給水量と給湯量を調整してください。

【注意】
・部品交換などの保守点検を容易にするため、給水側には必ずユニオン継手を使用してください。
・排水口と排水溝（排水ホッパー）の間を50㎜以上、空間を開けてください。
・排水溝（排水ホッパー）は口径80㎜以上のものを使用してください。
・逃し弁ホース、減圧弁ホースの先端は排水溝（排水ホッパー）の中に入れないでください。
・絶縁配管接続時は取付金具などの変形や位置ずれを防止するため配管や継手を工具で固定して締め付けてください。



給水・給湯・ふろ配管

- 前面パネルを外して配管工事を行ってください。
- 絶縁パイプは、万一の感電を防止するものです。必ず接続してください。

※絶縁パイプは、TOTO別売品をご使用ください。なお、当該水道局で材質が指定されている場合はそれにしたがってください。

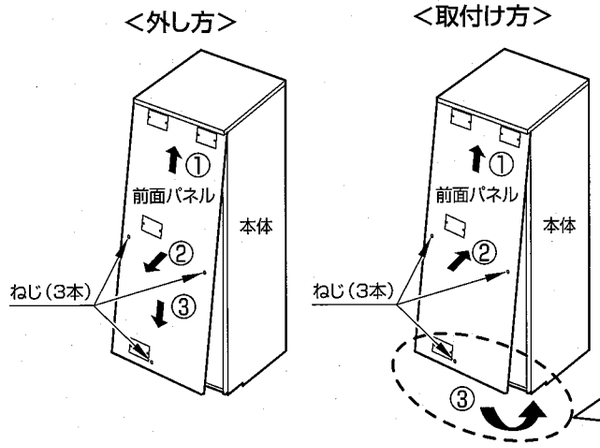
- 給水配管には、必ず温水器専用の止水栓およびストレーナを取付けてください。
  （水漏れや故障のときなど給水を止めるために必要です。）
- ふろ配管の延長は15m10曲がりまでです。ふろ配管にはTOTO別売品（ペアチューブ:RHG274-10（10m）、-25（25m）、-50（50m））を準備しています。

※ペアチューブと絶縁パイプを接続する場合は、接続方法によって別途部材が必要になります。（左ページ下参照）

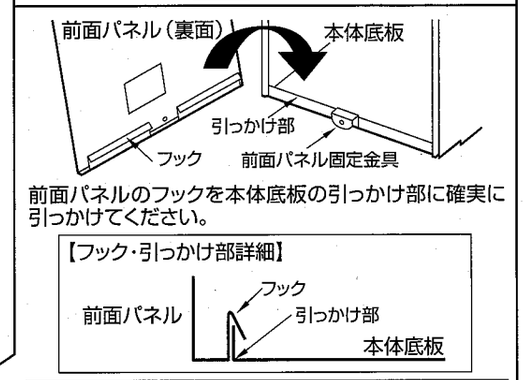
【前面パネルの外し方・取付け方】

＜外し方＞
1. ねじを外します。（3本）
2. ①のように引き上げます。
3. ②のように手前に引きます。
4. ③のように引き下げると前面パネルが外れます。

＜取付け方＞
1. 前面パネル上部を天板の内側に差し込み、上に引き上げます。（①）
2. 前面パネルを本体にピッタリと合わせて、そのまま下へ引き下げます。（②）
3. 前面パネル下部のフックを本体底板の引っかけ部に確実に引っかけたのちねじ（3本）で固定してください。（③）



⚠注意



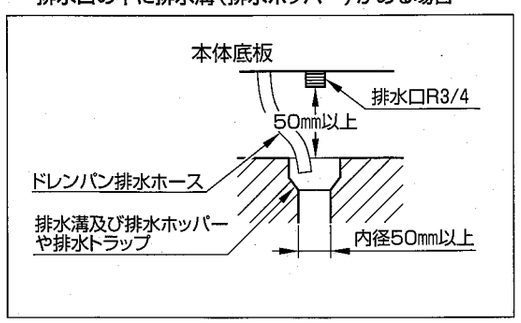
前面パネルのフックを本体底板の引っかけ部に確実に引っかけてください。

前面パネル下部のフックが確実に引っかかっていることを確認してください。フックが確実に引っかかっていないと、本体下部のねじが固定できません。

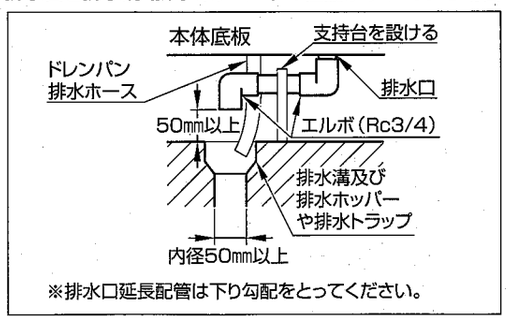
排　水

- 排水配管は、内径50㎜以上で配管勾配をとってください。
- わき上げ中に排水口より膨張水がでますので、必ず排水工事をしてください。
- 排水時に高温水が排水される場合があるので、耐熱性のある配管を使用してください。
- 排水口延長配管にフレキシブル管は使用しないでください。また、排水口延長配管は口径20A（3/4インチ）以上確保してください。

排水口の下に排水溝（排水ホッパー）がある場合



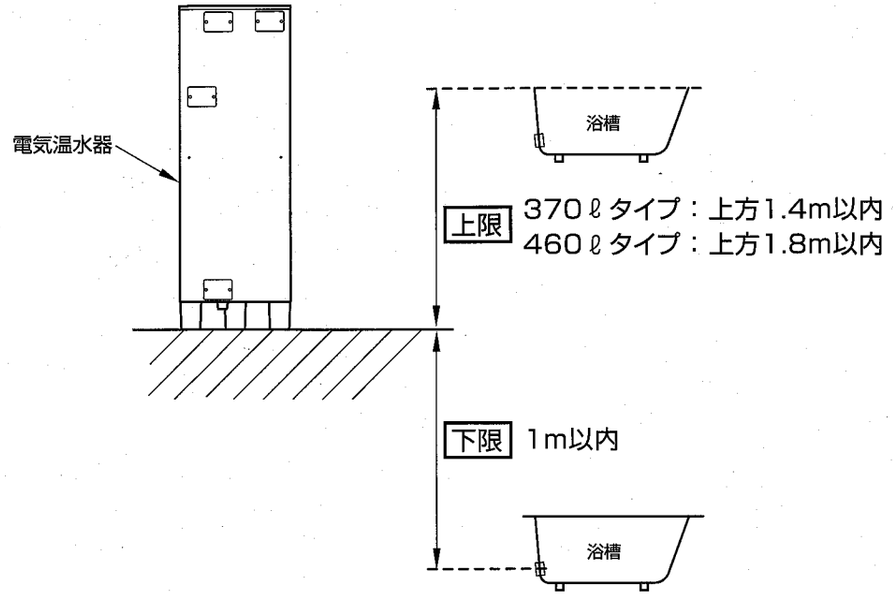
排水口と排水溝（排水ホッパー）の位置がずれている場合



※排水口延長配管は下り勾配をとってください。

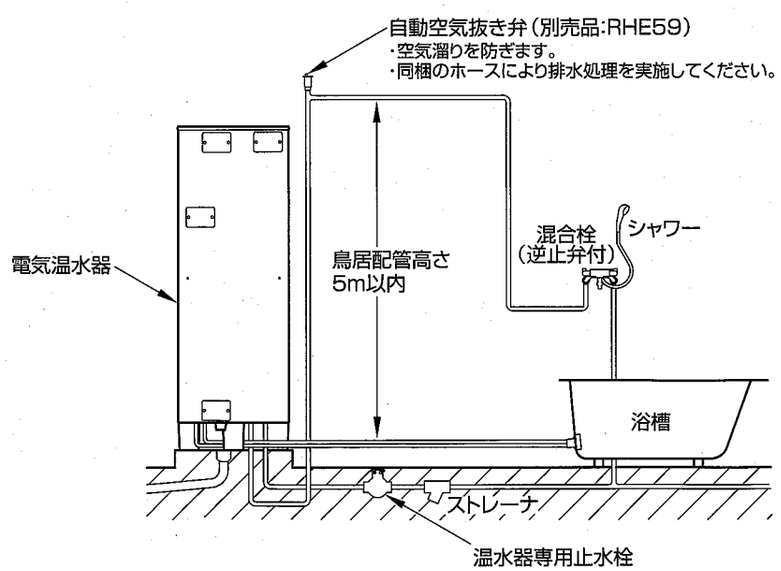
浴槽設置位置

- 温水器設置面より浴槽あふれ縁までの高さは、
  370ℓタイプ：上方1.4m以内
  460ℓタイプ：上方1.8m以内
  としてください。
- 温水器設置面より循環アダプタまでの高さは、下方1m以内としてください。
  （370ℓタイプ、460ℓタイプ共通）



鳥居配管の場合

- 給湯配管をやむを得ず鳥居配管にした場合は空気混入によるお湯の飛び散りを防ぐため必要に応じて自動空気抜き弁（別売品:RHE59）を取付けてください。



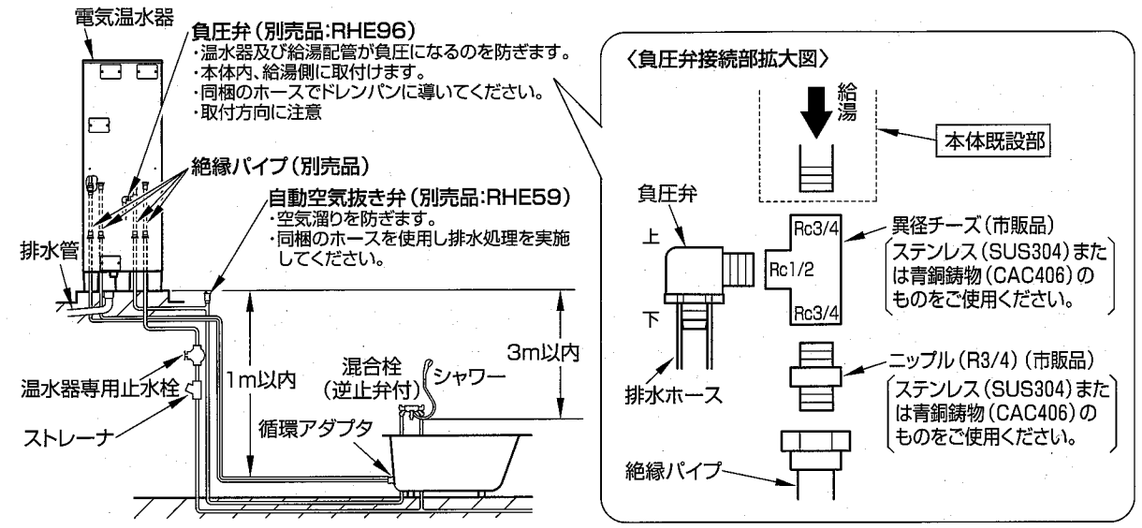
特殊配管例

〔階下へ給湯する場合〕

○温水器を2階又は屋上に設置し、階下へ給湯する場合は必ず別売品の自動空気抜き弁（RHE59）及び負圧弁（RHE96）をご使用ください。
自動空気抜き弁及び負圧弁に同梱のホースを使用し排水処理を実施してください。
負圧弁（RHE96）を取付るには、異径チーズ（市販品）とニップル（市販品）が必要です。（下図参照）

○混合栓と温水器の高低差は、3m以内にしてください。3mを超えると空気の混入によりお湯が飛び散るおそれがあります。

○浴槽の循環アダプタから温水器の高低差は、1m以内にしてください。

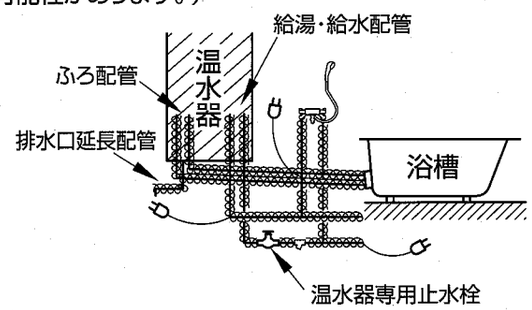


凍結予防対策

保温工事を行っていても周囲の温度が0℃以下になる配管は、適切な凍結予防対策を実施してください。（配管が凍結し機器や配管が破損する可能性があります。）

〈凍結予防ヒータによる方法〉

- 本体内部・外部配管とも凍結のおそれのある配管部分はすべて凍結予防ヒータを巻いてください。（本体内部の給水・給湯・ふろ接続口まで確実に巻いてください。）
- 排水配管を延長した場合は排水口延長配管にも凍結予防ヒータを巻いてください。（8ページ参照）
- 凍結予防ヒータは何本も使用するので適当な位置にコンセントを設けてください。
- 凍結予防ヒータを巻く場合はヒータの「説明書」による施工を行ってください。



※凍結予防対策とその操作方法をお客様に十分に説明してください。（取扱説明書を参照ください。）
※配管に水がない状態で凍結予防ヒータを絶対に通電させないでください。
※屋外にコンセントを設ける場合、防雨型のコンセントにしてください。

保温工事

- 配管接続の終了後漏水のないことを確認し、保温工事をしてください。
- 湯温の低下と凍結予防のため、すべての配管には必ず保温材を巻いてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。

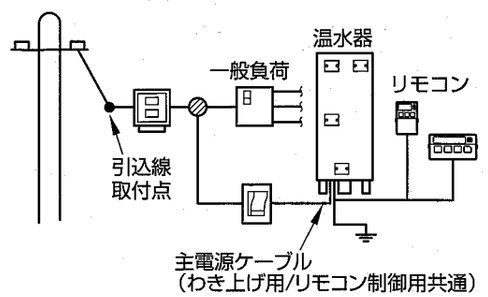
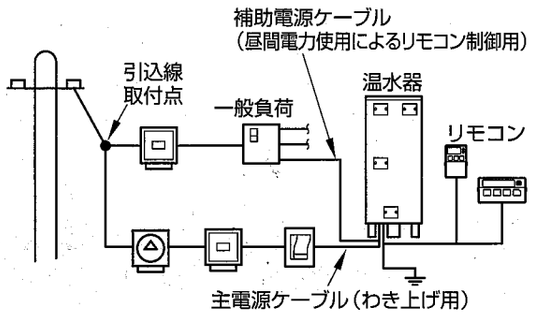
電　気　工　事

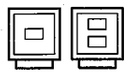
電気設備に関する技術基準及び電力会社の内線規程に基づき指定工事業者による施工が必要です。

必ず漏電遮断器の動作を確認してください。
（故障のまま使用すると感電するおそれがあります。）

引込配線工事

●電力契約により工事が異なります。

電力契約	配線工事概略
時間帯別電灯契約で使用する場合	 ●所轄の電力会社によっては時間帯別電灯契約でも主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に引き込む必要があります。その場合には、別売の深夜電力契約キット（RHE572）と、時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）が必要です。
深夜電力契約で使用する場合	 ●主電源のほかに、補助電源（昼間電力使用によるリモコン制御用）の接続が必要です。別売の深夜電力契約キット（RHE572）を準備してください。


電力量計

ジョイントボックス

ブレーカ

分電盤

タイムスイッチ

● 電気温水器の定格、及び使用するブレーカの定格、電源ケーブルの太さは次のとおりです。

① 時間帯別電灯契約で使用する場合

品　番	定格電圧	定格消費電力	ブレーカ定格	電源ケーブル太さ	電源ケーブルの種類
RE3705	単相200V	4.6kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV
RE4605	単相200V	5.6kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV

② 深夜電力契約、および時間帯別電灯契約で主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に配線する場合

品　番		定格電圧	定格消費電力	ブレーカ定格	電源ケーブル太さ	電源ケーブルの種類
RE3705	主電源（深夜電力）	単相200V	4.4kW	30A	φ2.6mm（5.5mm²）	VV
	補助電源（昼間電力）	単相200V	0.2kW	15A・20A	φ1.6mm	VV
RE4605	主電源（深夜電力）	単相200V	5.4kW	40A	φ3.2mm（8mm²）	VV
	補助電源（昼間電力）	単相200V	0.2kW	15A・20A	φ1.6mm	VV

本体内配線工事

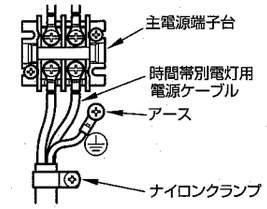
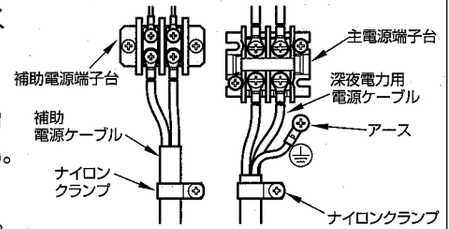
●電源工事・アース工事・リモコン工事を行ってください。
※各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。

1. 電源工事

●電力契約により工事が異なります。ご注意してください。
必要な配線は全て電源ケーブル・アース線口から機器内に入れてください。

電源ケーブルには、端子台に付属の丸端子を使用してください。
その際、丸端子に適合した圧着工具で確実に圧着してください。

電源ケーブルを端子台に取付ける際は、端子のガタツキがないようにねじを確実に締めてください。
端子のガタツキがあると、端子が赤熱する恐れがあります。

電力契約	工事内容（※圧着端子は端子台に付いているものを使用ください。）
時間帯別電灯契約（工場出荷時）	① 時間帯別電灯用電源ケーブルを200V主電源端子台に接続してください。 ② ナイロンクランプで、電源ケーブルを固定してください。 主電源（わき上げ用）と補助（リモコン制御用）電源を別々に引き込む場合は、別売の深夜電力対応キット（RHE572）と、時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）が必要です。取付方法ならびに配線方法は時間帯別電灯契約B対応キット（RHE632）に付属の取付説明書をご覧ください。 
深夜電力契約	① 電装基板のスイッチ（DIPSW）の1番をOFF（下）にしてください。 （下図の電装基板イラスト参照） ② 電装基板の電源コネクタをCN1（黒）（時間帯別電灯契約時）からCN2（赤）（深夜電力契約時）に差替えてください。 （下図の電装基板イラスト参照） ③ 別売品の「深夜電力契約対応キット」を取付けてください。 ④ 深夜電力用の電源ケーブルを200V主電源端子台に接続してください。 ⑤ 補助電源ケーブルを200V（※）補助電源端子台に接続してください。 ⑥ ナイロンクランプで、電源ケーブルを固定してください。 **※制御用電源は200Vのみ接続可能です。** 

●電装基板略図　※工事で使用する場合があるスイッチ（DIPSW）及びコネクタ（CN1、CN2）のみを記載している略図です。

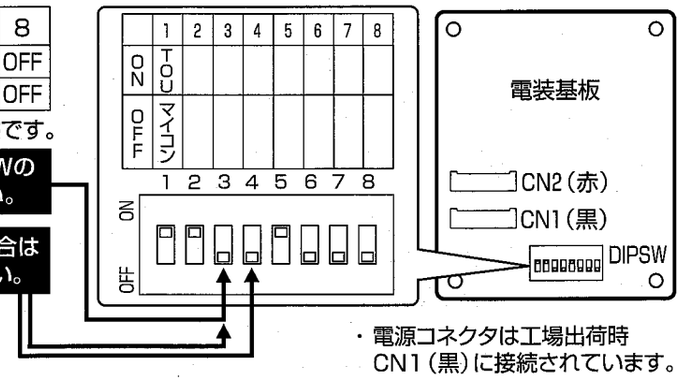
機種＼DIPSW	1	2	3	4	5	6	7	8
RE3705	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
RE4605	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF

時間帯別契約時、工場出荷時のスイッチの状態です。

※中国電力管内でご使用の場合は下図DIPSWの3（左から3番目）をON（上）にしてください。

※北海道電力管内のドリーム8契約で使用の場合はDIPSWの3、4を右記の様に設定してください。

契約タイプ		夜間時間	DIPSW 3	DIPSW 4
中国電力管内		23時～8時	ON	OFF
北海道電力管内（ドリーム8）	A	22時～6時	OFF	ON
	B	23時～7時	OFF	OFF
	C	24時～8時	ON	ON



・電源コネクタは工場出荷時CN1（黒）に接続されています。

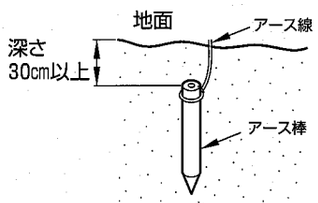
2. アース工事

電気設備技術基準及び内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事（100Ω以下）を行ってください。
（故障や漏電のときに感電することがあります。）

- 水道管、ガス管への接地、及び他器具用アース線との共用はできません。
  避雷針の接地と2m以上離してください。

〈手順〉

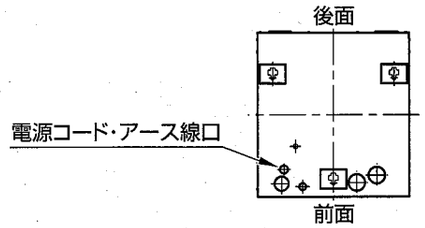
①市販のアース棒とアース線（IV電線3.5mm²緑色）を半田付又は中継端子で接続します。
②アース線を電源ケーブル・アース線口から通し、右図にしたがって保護アースに接続してください。
③アース棒は湿気のあるところで地中に30cm以上の深さに打込んでください。
（集合住宅の場合はアース線に接続してください。）

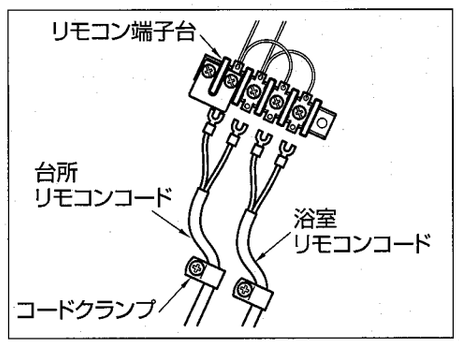


3. リモコンの取付け

リモコンに同梱の取付説明書をよくお読みください。

- 本体とリモコンコードの接続
  ①必ずブレーカと本体の電源スイッチ（主電源）を「切」（OFF）にしてください。
  ※深夜電力契約の場合は補助電源の電源スイッチも「切」（OFF）にしてください。
  ②本体の前面パネルを取外します。
  ③別売のリモコンコードを電源コード・アース線口より機器内部に入れ、Y端子を取付けます。
  ④Y端子を端子台所定の位置に固定します。
  ⑤リモコンコードをコードクランプで固定します。
  ⑥機器の前面パネルを取付けます。
  ※あまったコードを機器の中に押し込まないでください。また前面パネルを取付けるとき、コードをはさまないように注意してください。

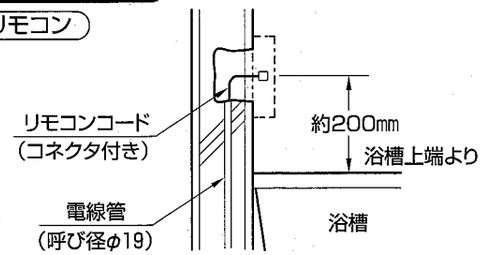




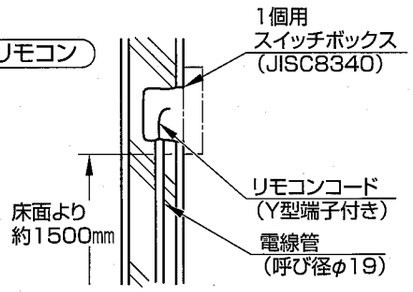
- リモコンコード（別売品）の配線のしかた

壁内埋込配線の場合

浴室リモコン

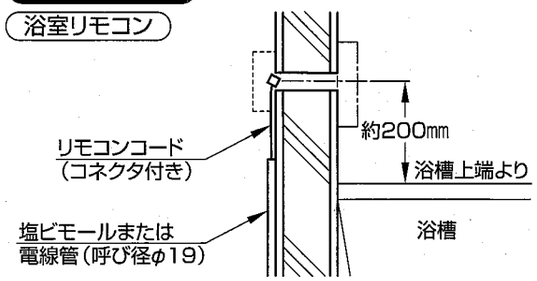


台所リモコン

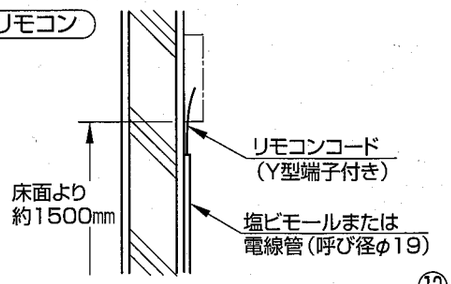


露出配線の場合

浴室リモコン



台所リモコン



試　運　転

- 深夜電力通電制御型で契約をしている場合で、昼間に試運転を行う場合は所轄の電力会社に連絡し専用のタイムスイッチの封印を解き、設定をずらして通電状態にしてください。

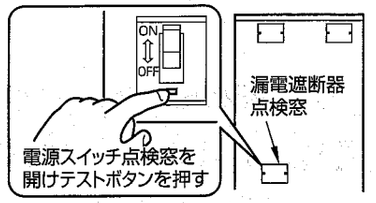
製品に通電する前にリモコンの接続が完了していること、及び**タンクが満水になっていること**を確認してください。（逃し弁を開放し、排水口から水が出たら満水です。）

1. 試運転準備

逃し弁を開放してタンクに注水し、満水状態にしてください。
排水口（逃し弁チューブ）から水が出たら満水です。（注水方法の詳細については、取扱説明書をご参照ください。）

2. 電気温水器の通電確認

①ブレーカを「入」（ON）にしてから本体の電源スイッチのレバーを「入」（ON）にします。
電源スイッチ（主電源）のテストボタンを押してください。
②「入」（ON）になっていた電源スイッチのレバーが「切」（OFF）になれば正常です。
※深夜電力契約の場合は補助電源の電源スイッチも同様に通電確認してください。



3. ヒータへの通電確認

〈時間帯別電灯契約の場合〉
①本体の電源スイッチのレバーを「入」（ON）にします。
②リモコンの時刻を昼間時間帯に仮に合わせます。
※リモコンは現在時刻に合わせて工場出荷しております。
③リモコンの全量わき増しスイッチを押し、リモコン表示部の「わかし中」表示と電力量計の回転の変化で確認してください。
④次に、100ℓ わき増しスイッチを同様に確認してください。
⑤リモコンの時刻を現在時刻に正確に合わせます。

〈深夜電力通電制御契約の場合〉
①主電源と補助電源両方の電源スイッチのレバーを「入」（ON）にします。
②補助電源の電源スイッチのレバーを一端「切」（OFF）にし、再び「入」（ON）にします。（ピークシフトを解除します。）
③リモコン表示部の「わかし中」表示と電力量計の回転の変化で確認してください。
④リモコンの時刻を合わせます。（リモコンは現在時刻に合わせて工場出荷しておりますが、念のため確認してください。）
※通電しない場合は電源スイッチの「入」「切」を繰返してみてください。
（ヒータは数秒遅れてONします。）

＊ リモコンがRAC600シリーズの場合は、浴室リモコンに同梱されている施工説明書に従って操作してください。

4. 湯はり運転の確認

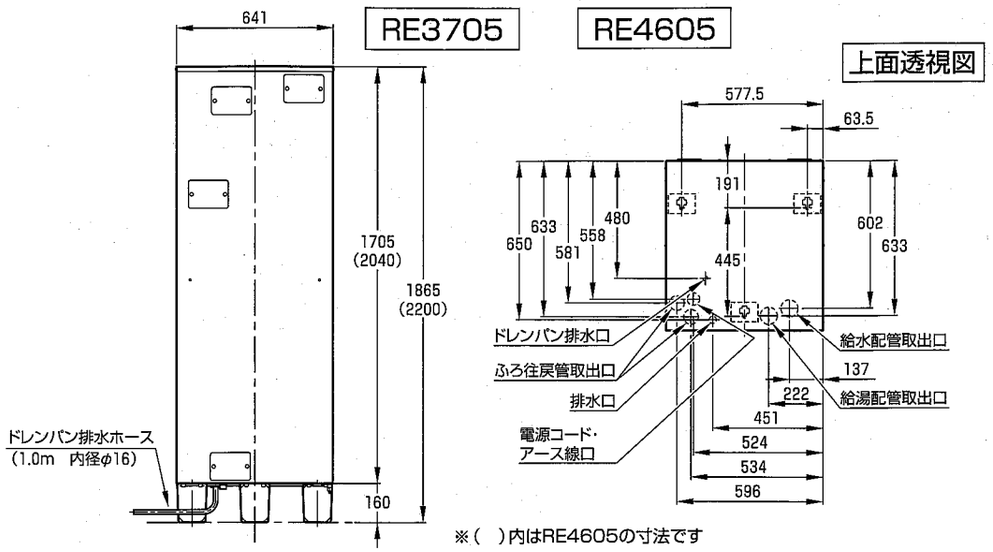
タンク内が水の場合でも、下記操作により湯はり運転の確認ができます。
①浴槽を空にして、浴槽の排水栓を閉じます。
②浴槽の大きさに合わせて、お湯はり水位を設定します。（工場出荷時は水位4に設定されています。）
③浴室リモコンの（表示）を2秒以上押しリモコン表示部に「ー:ーー」と表示されたのち、ふろ温度（▽）を5秒以上押します。
④浴室リモコンの表示部に「Lo」と表示され、設定した湯量を湯はりし、試運転が完了するとメロディ音が流れ、浴室リモコン表示部に「End」と表示されます。浴室リモコンの自動スイッチを押すと、リモコン表示部が通常表示に戻ります。
⑤試運転終了後、配管及び各配管接続部から水漏れがないことを確認してください。
※試運転中、リモコン表示部に「A01」「A02」（故障コード）が表示された場合は下記のチェック項目を確認してください。
注この試運転では温水器は浴槽の大きさを記憶しません。設置後はじめて「ふろ自動」運転を行う場合は、取扱説明書の21・22ページを参照し、浴槽の水を完全に排水してから行ってください。

故障コード	異常内容	チェック項目
A01	湯はり流量異常	・給水元栓は開いているか　・ストレーナの詰まりはないか ・給水元圧は十分にあるか　・その他の配管の詰まりはないか
A02	ポンプ循環異常	・ふろ配管の漏水、ねじれ、エアー噛みはないか ・ふろ配管距離が長すぎ（15m10曲がり以上）ないか

5. その他

・減圧弁のフィルター掃除を実施ください。
・その他のリモコン操作も取扱説明書のとおりに操作できることを確認してください。
・深夜電力通電制御契約の場合は、試運転終了後直ちに所轄の電力会社へ工事が終わった旨を連絡してタイムスイッチを再度封印してもらってください。
・試運転後、お客様への引渡しまで期間がある場合は、取扱説明書に記載の「排水のしかた」にしたがって、タンクの水抜きと循環ポンプの水抜きしてください。
さらに、減圧弁のフィルターも外してフィルターと逆止弁周りの水分を取ってください。冬場、フィルターと逆止弁が凍結し、通水できなくなることがあります。

外形寸法



※( )内はRE4605の寸法です

仕様

型式		RE3705	RE4605
名称		深夜電力対応電気温水器	
タイプ		角型配管内蔵型(全自動タイプ)	
設置形態		屋内・屋外・マンション兼用型	
適用電力制度		時間帯別電灯契約／深夜電力8時間通電制御兼用型	
貯湯量		370ℓ	460ℓ
電源	時間帯別電灯契約時 主電源	単相200V	
	時間帯別電灯契約時 補助電源	(接続不要)※1	
	深夜電力契約時 主電源	深夜電力:単相200V	
	深夜電力契約時 補助電源	昼間電力:単相200V(別売品(RHE572)の取付が必要)	
定格消費電力	最大消費電力	4.6kW	5.6kW
	上部ヒータ	4.4kW	5.4kW
	下部ヒータ	4.4kW	5.4kW
	制御用	約15W	
	凍結予防ヒータ	約32W	
	循環ポンプ	95W/124W(50Hz/60Hz)	
最高使用水圧		97kPa(逃し弁設定値)	
通常使用水圧		85kPa(減圧弁設定値)	
外形寸法		641mm(幅)×693mm(奥行)×1865mm(高さ)	641mm(幅)×693mm(奥行)2200mm(高さ)
製品質量(満水質量)		約79(449)kg	約88(548)kg
接続口	給水・給湯・排水接続口径	R3／4おねじ	
	ふろ接続口径	R1／2おねじ	
制御方法		サーミスタによる自動温度調節	
わき上がり温度		約70℃・約80℃・約90℃・自動(80℃または90℃)	
給湯温度		約35～50℃、60℃	
お湯はり温度		約35～48℃	
お湯はり量		水位検知(12段階・3.5cm間隔)	
あつめ機能		+2℃追いだき	
たし湯		20ℓ	
さし水		10ℓ	
保温時間		4時間(0～6時間可変)	
ソーラー接続		可(別売品(RHE573)の取付が必要)	
材質	ケース	塗装鋼板	
	タンク	高耐食フェライト系ステンレス鋼(YUS 190)	
	ヒータ	高耐熱耐食合金シーズヒータ	
安全装置		漏電遮断器・温度過昇防止器	

※1 所轄の電力会社によっては時間帯別電灯契約でも主電源(わき上げ用)と補助(リモコン制御用)電源を別々に引き込む必要があります。(単相200V)

【注意】
- 施工する温水器の電力契約タイプを確認のうえ電力会社に申請してください。申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
- 買替えなどで機種変更した場合でも電力会社へ申請してください。
- ご不明の点は最寄りの電力会社にお問い合わせください。
- この温水器は第2深夜電力(5時間)では使えません。

施工チェック

- 据付工事が完了しましたら、下記のチェック項目をご確認ください。
  不都合がありましたら、必ず直してください。

チェック項目	チェックポイント	チェック
1. 据付け	① 本体脚部(3ヵ所)はアンカーボルト(又は脚固定金具)で固定していますか?	
	② 点検・メンテナンススペースは十分確保されていますか?	
	③ 近くに引火物・火気(ガス類容器など)を置いていませんか?	
	④ 防水処理、及び漏水時の排水処理をしていますか?	
	⑤ 本体上部は強度のある壁に固定していますか?	
2. 配管工事	① 温水器専用止水栓、ストレーナは適切な位置に取付けていますか?	
	② 排水口は排水溝又は排水ホッパーの上にありますか?	
	③ 排水口と排水溝又は排水ホッパーのあふれ面の間隔は50㎜以上開いていますか?	
	④ 給水・給湯・ふろ配管には絶縁パイプを取付けていますか?(給水:0.5m以上、給湯:0.5m以上、ふろ:0.5m以上)	
	⑤ 循環アダプタは、当社の別売品を使用していますか?	
	⑥ 配管各部からの水漏れはありませんか?	
	⑦ 排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか?	
	⑧ ドレンホースを排水ホッパー又は排水溝に導いていますか?	
	⑨ 保温工事、あるいは凍結予防工事がなされていますか?	
	⑩ 減圧弁のフィルター掃除はしましたか?	
3. 電気工事	① 電線(ケーブル)の太さは適切ですか?	
	② タイムスイッチ、配線用遮断器(ブレーカ)の定格は十分ですか?	
	③ 主電源、補助電源電圧は単相200Vですか?	
	④ アース(設置)工事は確実ですか?(D種接地:接地抵抗100Ω以下)	
	⑤ リモコンケーブルと温水器の接続は適切ですか?	
	⑥ 契約した電力制度に応じて、電源ケーブルの接続や基板のスイッチ、コネクタの切替えは適切ですか?	

お客様への説明

- 別冊の取扱説明書に基づいて、正しい使い方をご説明してください。
  とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明してください。
- 日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。
- 寒冷地での凍結予防対策とその操作方法は具体的に説明してください。
- 減圧弁・逃し弁は消耗品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
  必ず定期的に交換するようお客様に説明してください。(交換時期のめやす：5年)

ご説明後取扱説明書と保証書を必ずお客様へ手渡し、保管していただくようお願いします。